

2025 年 12 月 01 日

課題名：Still 病患者における臨床像、治療反応性、疾患経過および再燃予測因子の検討：
単施設後ろ向き包括コホート研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、成人発症 Still 病（AOSD）の診療内容や疾患経過、治療効果、再燃のリスク因子を包括的に検討しています。本研究では、2004～2024 年の AOSD 患者の診療記録を後ろ向きに解析し、①初期臨床像と治療反応性、②IL-18・CRP などのバイオマーカーと疾患経過、③再燃および MAS 発症の予測因子—の把握を目指し、今後のよりよい診療に役立てることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2004 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に、当院で Still 病と診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

- ・診療録（カルテ）に記録された既存の臨床情報（臨床経過、診断、検査結果、治療内容、転帰など）
 - ・既に採取され診療目的で測定された血液検査結果（IL-18、IL-6、CRP 等を含む）
- ※新たな採血・検査や試料採取は一切行いません。

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025 年 12 月 16 日以降（倫理審査承認日以降）

◆研究方法◆

本研究は、当院に保存されている既存の診療情報を用いた後ろ向き観察研究として実施します。収集された情報は個人が特定されない形で統計解析を行います。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご承知いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご承知ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
内分泌代謝・リウマチ内科 研究責任者 医員 楊 宏平
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換ください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明